

解析数理工学

第1問

レポートと同じなので省略。

第2問

(a) 部分積分する。

$$\begin{aligned}\int_0^1 x^n \log x \, dx &= \left[\frac{x^{n+1}}{n+1} \log x \right]_0^1 - \int_0^1 \frac{x^n}{n+1} \, dx \\ &= -\frac{1}{(n+1)^2}\end{aligned}$$

(b) $\log(1-x)$ を Taylor 展開して、(a) を利用する。

$$\log(1-x) = -\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n} x^n$$

よって、

$$\begin{aligned}\int_0^1 \log(1-x) \log x \, dx &= \int_0^1 -\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n} x^n \log x \, dx \\ &= -\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n} \int_0^1 x^n \log x \, dx \quad \dots (*) \\ &= \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n} \frac{1}{(n+1)^2} \quad * (a) \text{ より } * \\ &= \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n(n+1)} \frac{1}{n+1} \\ &= \sum_{n=1}^{\infty} \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) \frac{1}{n+1} \\ &= \sum_{n=1}^{\infty} \left(\frac{1}{n(n+1)} - \frac{1}{(n+1)^2} \right) \\ &= \sum_{n=1}^{\infty} \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) - \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{(n+1)^2} \\ &= 1 - \left(\frac{\pi^2}{6} - 1 \right) \\ &= 2 - \frac{\pi^2}{6}\end{aligned}$$

(*) $\dots f_n(x) = -\sum_{k=1}^n \frac{x^k}{k} \log x$ ($x \in [0, 1]$) とすると、和を取る各項は正なので $f_n(x)$ は単調増加列。よって、その極限操作と積分の交換ができる。(単調収束定理)

第3問

とりあえず、 $\|x\|_2 < \infty \Leftrightarrow \|x\|_2^2 < \infty$ なので、 $\|x\|_2^2$ を考える。

(a) $x \in l^1$ とすると、 $\|x\|_2^2 = \sum_{n=1}^{\infty} |x_n|^2 \leq \sum_{n=1}^{\infty} |x_n|^2 + 2 \sum_{i \neq j} |x_i| |x_j| = (\sum_{n=1}^{\infty} |x_n|)^2 < \infty$ なので、 $x \in l^2$

よって、 $l^1 \subset l^2$

さらに、 $x_n = \frac{1}{n}$ とすると、 $\|x\|_1 = \infty, \|x\|_2^2 = \frac{\pi^2}{6} < \infty$ なので、 $l^1 \neq l^2$ である。

(b) 実際にノルムを計算してみる。

$$\begin{aligned} \|F_a\|_1 &= \int_{-1}^1 |x|^{-a} dx \\ &= 2 \int_0^1 x^{-a} dx \\ &= \begin{cases} \frac{2}{1-a} & a < 1 \text{ のとき} \\ \infty & a \geq 1 \text{ のとき} \end{cases} \\ \|G_b\|_1 &= 2 \int_1^{\infty} x^{-b} dx \\ &= \begin{cases} \frac{2}{b-1} & b > 1 \text{ のとき} \\ \infty & b \leq 1 \text{ のとき} \end{cases} \end{aligned}$$

よって、 $F_a, G_b \in L^1(\mathbf{R})$ となる条件は、 $0 < a < 1 < b$

また、同様に

$$\begin{aligned} \|F_a\|_2^2 &= 2 \int_0^1 (x^{-a})^2 dx \\ &= 2 \int_0^1 x^{-2a} dx \\ \|G_b\|_2^2 &= 2 \int_0^1 x^{-2b} dx \end{aligned}$$

とすると、上の議論より、 $F_a, G_b \in L^2(\mathbf{R})$ となる条件は、 $0 < 2a < 1 < 2b$ 、すなわち $0 < a < \frac{1}{2} < b$

(c) 例えば $a = b = \frac{3}{4}$ とすると、(b) より、 $F_a \in L^1(\mathbf{R}), F_a \notin L^2(\mathbf{R})$ なので $l^1 \not\subset l^2$ であり、また $G_b \in L^2(\mathbf{R}), G_b \notin L^1(\mathbf{R})$ なので $l^2 \not\subset l^1$ よって包含関係はない。

(d) $0 < a < 1 < b$ のとき、実際にノルムを計算すると、

$$\|F_a + G_b\|_1 = \|F_a - G_b\|_1 = \|F_a\|_1 + \|G_b\|_1 (= \frac{2}{1-a} + \frac{2}{b-1})$$

よって、

$$\begin{aligned} \|F_a + G_b\|_1^2 + \|F_a - G_b\|_1^2 &= 2(\|F_a\|_1^2 + 2\|F_a\|_1\|G_b\|_1 + \|G_b\|_1^2) \\ &\neq 2(\|F_a\|_1^2 + \|G_b\|_1^2) \end{aligned}$$

なので、中線定理が成り立たない。よってヒントより、 L^1 ノルムと整合する内積は定義できない。